

学校経営グランドデザイン

学校教育目標

「自分を見つめ、人を愛し、未来を拓く生徒」の育成

- 1 正しく判断する生徒（知）
- 2 人を思いやる生徒（徳）
- 3 生命を尊ぶ生徒（体）

湧別町の学校教育目標

- 1 自ら考え、知性を高め、正しく判断する子どもを育てる。
- 2 思いやりを持って、お互いに協力する子どもを育てる。
- 3 忍耐と自立の心を持ち、進んで行動する子どもを育てる。
- 4 健やかな心身を持ち、自他の生命を尊重する子どもを育てる。
- 5 ふるさとに学び、ふるさとを愛する子どもを育てる。

成果・課題（事実）

- どの生徒も素直で真面目である。
- 何事にも真剣に取り組むことができる。
- 学習時間が少ない。
- スマホやインターネットをしている時間が長い。

生徒に育みたい力

- ・変化の激しい現代において、卒業後も、自ら考え、主体的に行動し、他者と協力しながら積極的に問題解決を図っていくことができる力
- ・善悪を正しく判断し、他者を思いやり、誰に対しても分け隔てなく接することができる力

成果・課題（根拠）

- 自分に良いところがある。82.9%
- ものを最後までやり遂げることができた。88.5%
- 人の役に立つ人になりたい。94.3%
- 自分で計画的に学習する。44.7%
- 一日あたりのスマホ等使用時間が1時間以上 74.3%

目指す生徒の姿 ～ 物事をしっかりと考え、積極的に行動し、他者と協力できる生徒
 目指す学校の姿 ～ 温もりがあり、活気あふれる学校

今年度の重点目標

『相互理解』～子ども同士互いに理解し合う～
 『個に応じた指導の充実』～基礎学力の定着～

これに取り組む

- (1) わかる・できる喜びを体感させる授業づくり
 - ・目標の提示・終末の振り返りとICTの積極的な活用
 - ・少人数指導など個に応じた指導
 - ・協働的な学習（教え合い）の授業づくり
- (2) 学習規律・学習習慣の確立
 - ・学習規律の徹底
 - ・家庭との連携を強化し、生活リズムの改善や家庭学習の定着（全学年統一した家庭学習）

知

- (1) 道徳教育
 - ・家庭・地域社会と連携した心の教育の推進
 - ・道徳教育推進教師を中核に、全教職員の協働体制の基、自己の生き方を考え、主体的な判断し、より良く生きるための道徳性の育成
- (2) 特別活動
 - ・ルールとリレーションを確立し、安心感と満足感に満ちた学級づくり

徳

- (1) 安全教育
 - ・自他の生命を尊重し、安全に対する知識・理解を深め、自己管理できる態度の育成
- (2) 学校体育・健康指導
 - ・体育科や体育的行事、部活動を通し、健康や体力・忍耐力や克服力の向上
- (3) 人権教育
 - ・自他の人権を尊重する態度の育成（アサーションを意識して）

体

チーム上中

- ◇校内の組織力を高める
 - ・学習部を中心に、学力向上のための様々な手立てについて発言し、全員で取り組んでいく。
 - ・道徳教育推進教師を軸に、道徳教育の充実を図る。
 - ・全員の授業公開と研究を通して、互いに学び合う関係をつくる。
 - ・プロジェクトチームを組織し、様々な課題に積極的に取り組む。
- ◇地域の教育力を活用する
 - ・町内の各種施設を積極的に活用する
 - ・町内の人的資源を積極的に活用する

学校運営協議会

- ・教育活動の評価
- ・ボランティアの活用
- ・経営方針の承認

協働体制

- ・教育委員会
- ・中高一貫教育
- ・小中連携教育
- ・地場産業

生徒にとって通いがいいのある学校
 保護者・地域にとって通わせがいのある学校
 教職員にとって働きがいのある学校